

2017トピックス

■ <夏の感謝祭・秋の収穫祭開催>

J A 八千代市では、昨年度も農産物直売所グリーンハウス主催で「夏の感謝祭」と「秋の収穫祭」を開催しました。夏の感謝祭・秋の収穫祭ともに旬の新鮮農産物に多くの人が興味を示し、同J A 青年部、女性部、フレッシュミズ、生産部会などによる模擬店も大いに賑わいを見せました。

更に、J A 職員による新たな体験型イベントとして夏はトウモロコシ、秋はダイコンの収穫体験を行いました。子どもから大人まで参加し、地場農産物や農業への関心を高めてもらうことが出来ました。今回のお祭りでも、多くの生産者と消費者の貴重な交流の機会となりました。



<収穫体験の様子>

トウモロコシの収穫体験 (画像右)
ダイコンの収穫体験 (画像左)

親子での参加も多く、初めて収穫体験したお子さんや親御さんも一緒に夢中になっている場面も見られ、会場は笑顔であふれました。
夏・秋ともに大好評でした♪

▲夏、秋とたくさんの来場者が訪れ、活気に満ちたお祭となりました。

■ <地場農産物共進会で意欲向上、販売促進 PR で消費者との交流を>

八千代市内の生産者で組織する園芸協会は、消費者に向けた地場農産物の販売促進を行ったり、組織の中でより優れた品を決めるために共進会（コンテスト）を開催し、自分達が大事に育てた農産物を出品しています。

生産者自らが販売促進を行うことによって消費者との直接的な交流の機会となり、相互的な理解や関心が高まります。また、共進会は生産者同士が切磋琢磨し意欲の向上を目指しています。昨年度行われた第37回農産物共進会（秋の収穫祭会場にて開催）では、共進会終了後、出品された農産物が販売されました。会場には、八千代市産選りすぐりの新鮮農産物を求め、たくさんの消費者が訪れました。



共進会の様子。各生産部会に所属する生産者は、共進会を行うことで技術向上、意欲を高めます。



共進会に出品された生産者自慢の農産物は、各種イベントで販売することも。消費者の皆さんとの交流を大事にしています。

▲共進会では生産者自慢の農産物が並び、お互いにその出来映えが確認できる大事な機会です。販売促進では消費者との交流を図りました。各会場は大いに賑わい、八千代市産の農産物のPRを積極的に行いました。